

ヘルスケアはどうあるべきか? 大正製薬HD社長・上原明の「自助、共助、公助」論

# 財界

ZAIKAI  
a Japanese business biweekly

高校時代の思い出を今一度  
静岡県立静岡高校  
鈴与グループ代表 鈴木 与平  
INPEX社長 上田 隆之  
アステラス製薬会長 畠中 好彦

2021 10/20

◎インタビュー  
日本M&Aセンター会長  
分林 保弘  
青山学院大学名誉教授  
八田 進二

「より多くの人に、より良いインターネットを!」  
GMOインターネットグループ・熊谷正寿の  
「日本危機下の新市場創出」  
インターネット事業に参入して26年、グループの上場会社は10社だ  
水戸美加 森田博文



表紙の人  
三井化学社長  
橋本 修  
撮影 齋田 勤



昔は「見た目じゃないよ」って言わっていましたが、今はすごく社会全体が「本当は見た目は大事でしょ」というふうになっていますね。大手美容外科は手術症例数が大きくなっています。

池田 現在はコロナ禍の中ですが、社会的には美容外科を利用する人が増えてきていますよね。正直、若い子にはほぼ100%浸透しているんじゃないのかな。僕の友達の息子さんとか娘さんとか、「高校卒業するから、大学に行く前に美容医療をやる」と言う人たちが多いんですよ。僕は普段は若い人の施術はそんなにしていないんですが、友達から頼まれるんです。

池田 今、あきこクリニックはどんな体制ですか。

田中 看護師が3人と受付スタッフが3人と、私とあとは非常勤のドクターが3人います。

池田 現在はコロナ禍の中ですが、社会的には美容外科を利用する人が増えてきていますよね。正直、若い子にはほぼ100%浸透しているんじゃないのかな。僕の友達の息子さんとか娘さんとか、「高校卒業するから、大学に行く前に美容医療をやる」と言う人たちが多いんですよ。僕は普段は若い人の施術はそんなにしていないんですが、友達から頼まれるんです。

昔は「見た目じゃないよ」って言っていたが、今はすごく社会全体が「本当は見た目は大事でしょ」というふうになっていますね。大手美容外科は手術症例数が大きくなっています。

### コロナ禍の中、美容外科を利用する若い人たちが増えている。

池田 希望通り東大医学部に入学した時、さぞかし、両親は大変喜んだでしょう。卒業して、東大医学部附属病院の産婦人科に最初に入つたのはなぜですか。

田中 私の原点である、とにかく外科系に行きたかったんです。でも、

存じ上げていました。今でこそ美容の世界に身を置くのは風当たりは強くないけれど、先生の頃はさぞ大変だつたでしょう。それを耐えぬかれた先生は私達の憧れのレジェンドです」って言されました。「どうも」と答えました(笑)。

池田 今でこそ美容外科などもあるので、ちょっと細い部分もあったのだろうと思います。今はもうどの科でも入れてもらえない部分もあったのだなって思います。結局、女性を歓迎する外科系は産婦人科しかなかったので、産婦人科に行つたわけです。

田中 まだ私の頃は、形成外科や整形外科は女性を取らないという時代でした。今はもうどの科でも入れてもらえない部分もあったのだなって思います。ただで、子供がやることに対しても抵抗がないっていうものもありますね。

田中 どこまでが美容外科かというのは、あまり言いたくないんですけど、例えばお肌を綺麗にするという意味で言つたら、今の若い人たちの多くは美容医療を行っていると思います。

田中先生は若い医師に自分の技術を教えていますが、今の若い医師はどうですか。僕は若い医師のことはあまり言いたくないんですけど、やっぱり医療技術のレベルは下がつているように感じますね。僕の場合はうまくなりたかったから、本当に休みなしで働きました。

田中 パイロットも同じですけど、どれだけ手術数をこなしたか、経験を積んでいるかだと思います。仕事がいやだとか、お休みが欲しいっていう人は、外科は向いていないんじゃないかなと僕は思いますね。

池田 そうですね。当時は美容外科って胡散臭く思われていて、「東大医学部卒の美容外科医はあまりいません」といった感じの風あたりが非常に強かつたんです。

田中 でも、私がフロンティアとして頑張ったので、最近は東大出の美容外科医や美容皮膚科医がどんどん増えています。先日、ご夫妻で美容皮膚科をやっているクリニックにスレッドリフトの指導に行きましたら、お2人とも東大医学部の卒業生だったんです。奥様の女医さんの方から、「学生時代から田中先生のお名前はよく

変多いで、私も十数年いる間に、もう何万症例も手術をして、経験値を積みました。うまくいかなかつたこともあるし、それをリカバリーシャトルたこともあるし、そういうことを全部経験して、自信がついたから、40歳のときに開業したんだですよ。

田中 だから、経験の少ない美容外科医の方々から「教えてください」という依頼が来たときは、患者さんを不幸にしないために、自分の持つている力の全てを惜しみなく教えていきます。

池田 最後に美容外科学会・学会長として今後の美容外科のあり方を教えてください。

田中 美容外科医の使命は、やっぱりコンプレックスを抱えたままでいる人が、美容外科手術を受けたことで自信がついて、いろいろなことにチャレンジしていくようになるのを助けることだと思います。

田中 人生100年時代ですので、40代、50代でも若々しくいいといふうに命もあります。そのために、常に新しい技術を習得して、昨日より今日の方がうまい私になりたいと毎日思っています。

池田 産婦人科に行ってみていかがでしたか。

田中 産婦人科ってお産のイメージしかないじゃないですか。でも、婦人科系のがんで入院されている方もたくさんいるんです。がんの治療というのは昼間だけが戦いではないので、ろくすっぽ寝られない生活でした。

夜間も抗がん剤を入れに行ったり、抗がん剤をしているせいで、おしひこが出なくなってしまうので、おしひこが出る薬を点滴に入れに行つた。何しろ寝られなかつたんです。休みもなく寝ずに走り回つて生きを上げてきました。大学病院つて広いので、薬剤を一つ取りに行くだけでも、あちこち駆けずり回ることになりました。

それで体力的に産婦人科もちよと厳しいなということになってしまつて、思い切つて大手の美容外科に入りました。